

居ながら施工の集合住宅耐震改修工法

国土交通省 先導的モデル事業（1/2補助金事業）

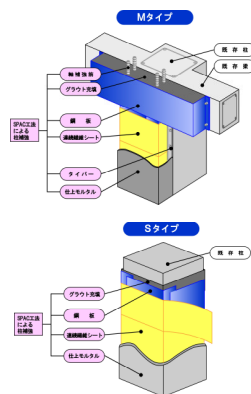


<建物概要>

- 構造：鉄筋コンクリート造
- 規模：地上6階（1棟）、地上7階（3棟）
- 基礎形式：既製コンクリート杭、独立基礎
- 建設時期：昭和54年（1979年）竣工
- 補強工法：外付け型柱・梁補強SPAC工法

<工法の特徴>

- ①専有の居住部分に入らずに居ながら施工が可能
- ②外観がほとんど変わらず、違和感が無い
- ③騒音が少なく、住民のストレスが少ない
- ④クレーンなどの重機を使わない
- ⑤工期は4~5ヶ月と短工期で完成
- ⑥バルコニー、廊下内の工事が主体となり天候の影響を受けにくい
- ⑦軽量部材が多く、工事中の安全確保が容易
- ⑧各工程の養生期間や待ち時間が少ない



居ながら施工の集合住宅耐震改修工法

国土交通省 先導的モデル事業（1/2補助金事業）

<構造の特徴>

- ①高強度グラウトと高強度繊維シートにより、せん断耐力が向上
- ②太径鉄筋（41φ、38φ）により、曲げ耐力が向上
- ③柱・梁接合部の補強により、接合部のせん断耐力が向上
- ④曲げ耐力の向上により、ブレースを使用しない工法
- ⑤荷重増が少なく杭の増設が不要



最上部はD38φ鉄筋を補強
端部のカブラーを設置



独立柱は高強度繊維シートで補強



D19φ鉄筋をアンカー



D38φの鉄筋を設



t3、2の鉄板を点付け溶接



高強度繊維シートをアクリル樹脂で接着



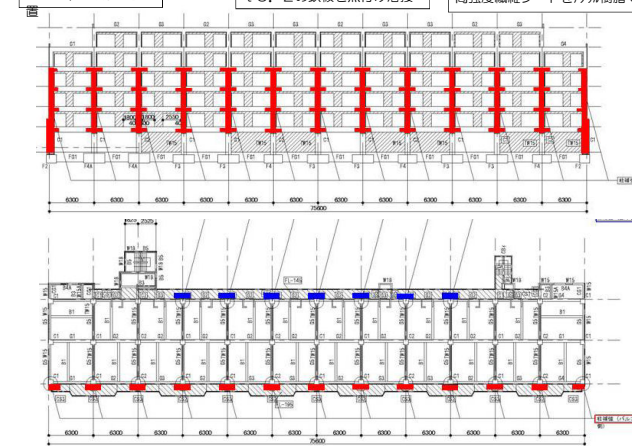
ボルトカバー取付



モルタル仕上



高強度グラウト（45N）打設



高強度繊維シート張付張り付け



モルタル面塗装
端部シーリング



階段はスラブを鉄骨補強



防水・吹付



小型のミキサーで任送